



2014年5月8日 特別号
コールマン ジャパン株式会社

コールマン、家族キャンプに関するプレスセミナーを開催 家族キャンプ経験者の77%が子どもに良い影響があると回答 尾木ママ、未来型の学力育成における原体験の重要性を語る

コールマン ジャパン株式会社(以下、コールマン)は本日、2014年2月に実施した家族キャンプに関する意識調査*の結果を発表するとともに、教育評論家の尾木直樹氏(尾木ママ)を招き、親子で行くキャンプ(以下、家族キャンプ)の有益性を考えるプレスセミナーを東京都内で開催しました。

尾木ママは、家族キャンプで培われる「原体験」(後述)が子どもの学力の基礎となる探究心や感性を高め、人格形成にも大きな影響を及ぼすと説明し、特に8歳頃までの「原体験」蓄積が、脳のワーキングメモリーや一般知能に代表される「地頭」を向上させると述べました。



教育評論家 尾木直樹氏

子どもの成長・発達において、将来、人間的にも学力的にも伸びていくための基礎・基本、土台となるのが「原体験」が内包する教育力に他なりません。火や石、土、水、木、草、動物との体験、暗闇や飢え、渴きなどの「ゼロ体験」を通じて、子どもたちは探究心や人としての感性を高め豊かな人格を形成していくのです。「原体験」が、今流行の早期教育よりも子どもの「地頭」を向上させる効果があることは、脳科学者からも指摘するところです。

近年、国際社会が模索する「未来型学力」は、現在の学力観における知識量や技量ではなく、将来何が出来るかに重点が置かれようとしています。2018年からのPISA調査では、グローバル化する社会で多様性を受け入れ、共同しながら新しい価値を生み出す能力(グローバル・コンピテンシー)が問われます。

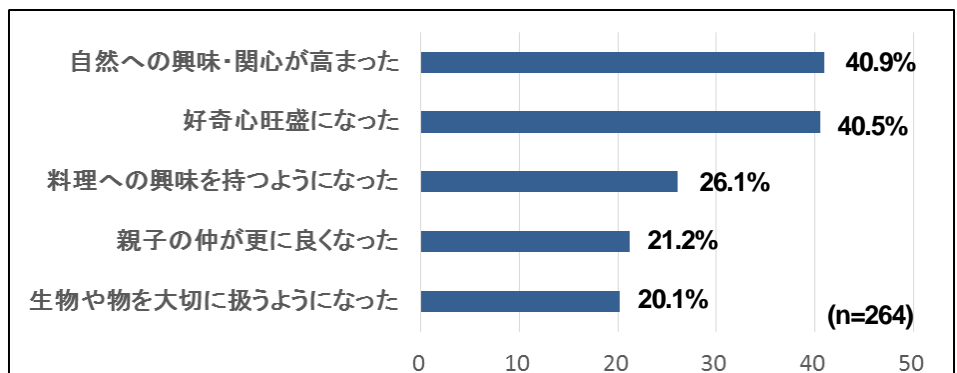
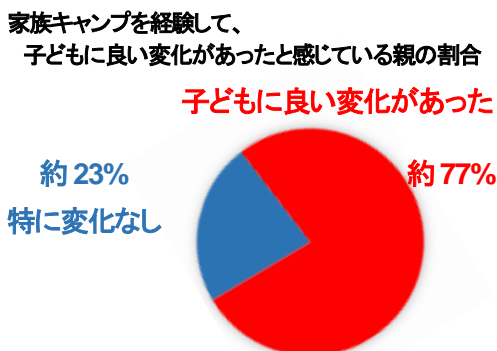
家族キャンプは、「原体験」だけでなく、「未来型学力」の構成要素となる「問題解決能力」や「段取り力」「社会性・共同性」「主体性」などを育むのに最適です。キャンプを通じてアウトドアの素晴らしさ、楽しさを家族で共有し、グローバル化時代を逞しく生き抜く力を育みたいものです。

家族キャンプに関する調査(n=524)は、家族キャンプ経験者および未経験者を対象に、自然体験がもたらす親子コミュニケーションおよび子どもの成長への影響について調査しました。この調査から得た特筆すべき結果は、次の通りです。

■約77%の家族キャンプ経験者が子どもの成長に良い変化があった

家族キャンプ経験者(n=264)の親に対し、キャンプを体験したことで子どもの意識や行動に良い変化があったかを聞いたところ、約77%の親が良い変化を受けていると感じていることが明らかになりました。このうち、最も回答が多かったのは「自然への興味や環境への関心が高くなった」(40.9%)でした。その次に多かったのは「好奇心旺盛になった」(40.5%)でした。(図1)回答者の親からは、「電気やガスがあるのが当たり前ではないと感じてくれた」(父親38歳)、「3歳の虫嫌いの息子が、捕まえたクワガタを図鑑で探していた」(母親40歳)といった意見がありました。

(図1) 家族キャンプ経験者の親が、キャンプを通じて子どもに見られるようになった変化



全体スコア20%未満の回答は省略、複数回答

家族キャンプ経験者(n=264)がキャンプに行ったきっかけとしては、「自然とのふれあい」(72.7%)、「自然の中で非日常的な体験を子どもにさせたい」(71.2%)、「家族との団らん」(68.2%)、「子どもの成長に良い影響があると思ったから」(66.7%)など、キャンプのレジャーとしての楽しみ、家族のコミュニケーション、子どもの教育という3つの目的が主な理由となっています。このことから家族キャンプは親の期待を具現化する方法としても有効であると言えます。

■93.6%の親が自身も楽しめる、71.5%は夫婦の会話が多くできたことに満足

家族キャンプ経験者(n=264)が家族キャンプで満足したこととして、子どもの成長や自然体験、家族との団らんの時間に対する満足度が高かったことに加え、93.6%が「(親自身が)キャンプを楽しむことができた」、85.6%が「自然と触れ合うことでリラックスできた」と回答しました。さらに、71.5%が「キャンプを通して、普段より配偶者と多く対話できた」と回答するなど、家族キャンプが子どものためだけでなく、親自身の満足度も高いことから、家族としての満足度が高いレジャーであることが明らかになりました(図2)。家族キャンプ経験者の親に、またキャンプに行きたいかを質問をしたところ、94.7%が「行きたい」と回答し、家族キャンプ経験者の満足度の高さがうかがえます。

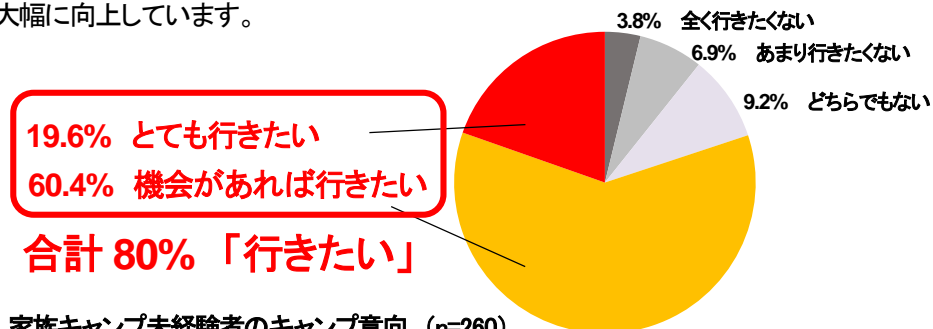
(図2) 家族キャンプ経験者の親が、キャンプで満足したこと(マトリクス単一回答) ※項目によりベースが異なるためn数省略

➢ 家族の団らん	97.7%	➢ 自然と触れ合いリラックス	85.6%
➢ 子どもがキャンプを楽しんでいた	97.7%	➢ 子どもが新しいものに興味を持った	80.7%
➢ 自分(親)がキャンプを楽しめた	93.6%	➢ 普段見られない子どもの一面に気づいた	73.5%
➢ 子どもに普段できない体験をさせた	92.8%	➢ 子どもに自然や命の尊さを感じさせることができた	72.0%
➢ 普段より子どもと多くの時間触れ合えた	87.5%	➢ 普段より配偶者と多く対話できた(既婚者ベース)	71.5%

■80%の家族キャンプ未経験者が「行きたい」 キャンプ場の充実した設備がカギ

家族キャンプ未経験者(n=260)に家族キャンプ実施の意向を聞いたところ、「とても行きたい」(19.6%)あるいは「機会があれば行きたい」(60.4%)と回答した合計80%に上り(図3)、未経験にも関わらず家族キャンプへの意向が非常に高いことが明らかになりました。未経験者の家族キャンプ実施に至らない理由として最も多かった回答が、「キャンプ道具を持っていないから」(67.3%)でした。

近年のアウトドアブーム再来とともに、大都市圏内において手ぶらで楽しめるバーベキュー施設、露天風呂や家族で貸切りできる風呂付きオートキャンプ場、レンタル可能なキャンプ道具が完備されたキャンプ場など、アウトドア関連施設が充実しています。その他、初めての家族キャンプに不安を抱く親のために、アウトドアメーカーがキャンプに有用な道具の使い方をレクチャーする体験イベントを提供するなど、施設面だけではなくアウトドアメーカーのサポートも後押しとなり、キャンプそのもののレジャー性と利便性が大幅に向上しています。



(図3) 家族キャンプ未経験者のキャンプ意向 (n=260)

※【家族キャンプに関する意識調査について】

コールマン ジャパン株式会社が、株式会社マクロミルに委託し、3歳~12歳の子どもを持つ男女(n=524)に「家族キャンプ(キャンプ場内のテントに親子で1泊以上宿泊すること)」に関して意識調査を実施。

調査実施時期: 2014年2月24~25日

【コールマンジャパン株式会社について】

総合アウトドアレクリエーションのリーディングカンパニーとして、コールマン®、セビラー®、スターンズ®、エアロベッド®

およびキャンピングガス®の各種製品の企画・製造、輸入および国内販売を行っています。

設立: 1976年5月、従業員数: 110名、代表取締役社長: リチャード・L・ギルフォイル

住所: 〒108-0023東京都港区芝浦4-9-25芝浦スクエアビル

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

コールマンジャパン PR 事務局 (MSLGROUP in JAPAN 内) 担当者: 高橋、蓑口、榊井

Email: press@coleman.co.jp Tel: 03-5719-8901

【参考資料】

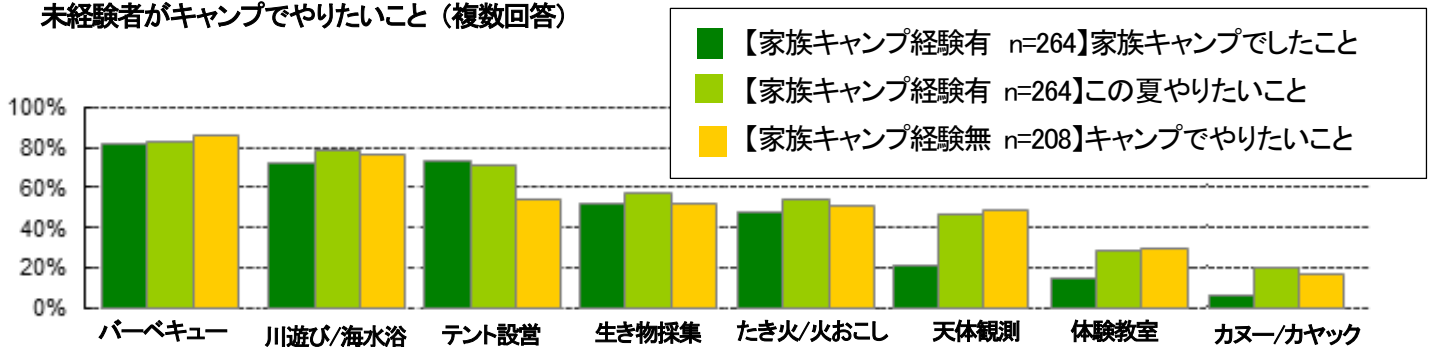
家族キャンプに関する意識調査の主な結果

■家族キャンプに行ったきっかけ

対象:家族キャンプ経験者(n=264、複数回答)

1位 自然とのふれあい	192人(72.7%)
2位 子どもに日常生活ではできないことを体験させたかった	188人(71.2%)
3位 家族との団らん	180人(68.2%)
4位 子どもの成長に良い影響があると思ったから	176人(66.7%)
5位 割安なレジャーだから	71人(26.9%)

■家族キャンプ経験者がキャンプでしたこと／家族キャンプ経験者がこの夏にやりたいこと／未経験者がキャンプでやりたいこと（複数回答）



■家族キャンプ経験者の子育てに対する意識の変化や子どもの変化について

- 寝る時に聞こえる虫の声などを楽しんでくれて、少しずつ外遊びに興味をもつようになってきて良かった。(39歳父親)
- いつもは見られない表情を見ることができた。思ったよりもたくましくなっていて驚いた。(36歳母親)
- テレビやパソコンの無い環境で面と向かって対話することの大事さを改めて知れた。(38歳父親)
- 普段は血洗いやなどしないが役割分担をキャンプではして、家族同士が思いやりをもてるようになった。(38歳母親)
- 寒い日もあり凍えた夜もあり、なにかしら失敗することがあるが、それを親子で乗り越える楽しさがキャンプにはある。(40歳父親)
- 普段はダメ・危ないという言葉をしぐすぐ言うてしまうが、キャンプを通して、少し待つてあげられるようになったと思う。(32歳母親)
- あまり固定概念に縛られないで自然にしていれば、子どもは育つと感じた。(29歳母親)
- 虫とりや魚釣り、テントの設営など、キャンプではお父さんが頑張ってくれる。普段見られない父と子の関係が築かれ、見ていてとても嬉しく思う。(36歳母親)

■家族キャンプで子どもに身につけてほしいこと

対象:家族キャンプ未経験者でキャンプに「とても行きたい」「機会があれば行きたい」と回答した親(n=208、複数回答)

1位 自然体験から身につく判断力／環境適応力と危険回避能力	154人(74.0%)
2位 外で遊ぶ／身体能力の向上	125人(60.1%)
3位 生物や自然に対する思いやりの心／道徳心	115人(55.3%)
4位 自分一人でやり切る力／自主性	108人(51.9%)
5位 自然の大切さや生命の尊さを重んじる／感動する心	103人(49.5%)

以上